



予約優先制です。診療時間内に電話でご予約下さい（990-5820）。水曜日は検査日です。



ホームページ

<http://www.kikuchi-clinic.com/>

携帯も共通です。

休診等の最新情報は、ホームページでご確認下さい。



ゴールデンウィークの休診は暦通りです。

当院の広報誌は、ホームページでご覧頂けます。

広報誌は、開院から4か月遅れで、99年（平成11年）1月から発行しています。当院ホームページの「広報室」から過去の広報誌がすべて閲覧できます（PDFファイルです）。印刷したものをご希望の場合は、受付へお申し出下さい。

先月は、福岡県の「いのししの神社」、足立山妙見宮へ行ってきました。ここも狛犬の代わりに「狛亥」が出迎えてくれます。続きは、2ページです。

医者にどこまでまかせられるのか？

通院中の患者さんが、予期せぬ病気を発病されることがあります。「予期せぬ」という言葉は、治療中の病気とは全く関係のない病気という意味で使いましたが、「よくない病気」であることが多く、私たちもかなりショックを受ける事態になります。

「予期せぬ」病気でも、当然私たちは予期すべきなのですが、何も症状のない患者さんに対して、どこまで検査すればよいのか、いつも悩んでしまいます。

1月号で書きましたが、私自身は、年1回「胃カメラ」と「大腸ファイバー」を受けています。「腹部エコー・甲状腺エコー」や「胸部X線写真」も適宜受けます（というか自分でやります）。血液検査も1～2か月毎には受けています。ただし、「がん」を早期発見するためには、これでも不十分です。脳のCT・MRI、肺のCTも必要です。男でも乳がんがありますし、膀胱、前立腺、骨などのがん、白血病などの血液のがんも心配です。

さて、これらの全ての検査を、実際に患者さんにすることはできるでしょうか。

医療費について考えると、診療報酬は下がり、患者さんの負担は増えてきています。矛盾の多い医療制度改悪の中で、どこまで健康保険の範囲で、病気の早期発見ができるのか、患者さんはどこまでの負担（経済的だけでなく、時間的、肉体的なども含めて）をしていただけるのかなど考えると、画一的な答えは出せないように思います。（まだ続く予定でしたが、風邪で寝込んでしまいましたので、次号に続きます。）

患者さんや家族は、通院中の病気だけではなく、すべての管理がなされていると期待されていることが多く、正直言って、私たちにはかなりの重圧になります。

昨年は、膝の手術を受けたおかげで、「心エコー」「呼吸機能検査」も受けました。

平成10年の老人医療の窓口負担は、1日530円で月4日（2120円）が上限でしたが、現在は、1割あるいは3割です。

糖尿病の検査の保険点数で、HbA1c（グリコヘモグロビン）は、平成10年には85点でしたが、平成18年の改定では55点まで下げられています。

毎月初回の受診時には、必ず「保険証」や「医療証」をご持参下さい。

九州の「いのししの神社」に行ってきました



あだちやまみょうけんぐう

足立山妙見宮

先月号でご紹介した、
わけのきよまる

和氣清麻呂公(733~799)

が祀られている、全国の「妙見神社」の総本宮です。

足立山という名前は、足に傷を負った清麻呂公が山麓の霊泉につかると、たちどころに傷が癒えたところからついたそうです。

猪の背に乗った、清麻呂公の像があります。

福岡県北九州市小倉北区妙見町17-1

JR小倉駅から、西鉄バスで、約22分。バスを降りてからちよっと歩きます。(階段を300段ほど)

足立山妙見宮のホームページ <http://www.myouken.or.jp/>

小倉城 (工事中で、シャチホコが降ろされて展示されていました)

<http://www.kid.ne.jp/kokurajou/html/k01.html>

松本清張記念館

清張氏の仕事場である自宅が再現されています。ファン必見です。

<http://www.kid.ne.jp/seicho/html/index.html>

小倉城庭園 (小笠原会館)

<http://www2.kid.ne.jp/teien/>

いずれもJR小倉駅から徒歩15分

(3施設共通入館券あり700円)

「**きょうの健康**」NHK教育テレビ <http://www.nhk.or.jp/kenko/>
(月)～(木) 午後8:30～8:45 (金) 午後8:00～8:45
 (再放送) 翌週 午後1:05～1:20 テキストが市販されています。

月	火	水	木	金
			HIV・エイズの最新治療	Q&A
			1	2 子どもの目の病気
認知症 予防・治療の最前線				Q&A
5 もの忘れ? アルツハイマー病?	6 増えている レビー小体型認知症	7 ここまで防げる 脳血管性認知症	8 早期診断が大切	9 認知症
くわしく知りたい 胃がんの治療				Q&A
12 検査と治療の選択	13 負担の少ない 内視鏡治療	14 広がる 腹くう鏡手術	15 抗がん剤の 最新治療	16 胃がん
油断大敵! 歯周病の徹底対策			専門医がすすめる 健康体操2	Q&A
19 早めにチェック! サインを見逃すな	20 これが正しい プラークコントロール	21 進行したら 最新の手術	22 血圧を下げよう	23 歯周病
(アンコールシリーズ) 糖尿病 合併症から身を守る				Q&A
26 動脈硬化 予備軍でも要注意	27 神経障害 早期発見が大切	28 網膜症 血糖値を 上げない工夫	29 腎症 血圧コント ロールが重要	30 糖尿病

肺炎球菌ワクチン

2/7のきょうの健康、2/21のためしてガッテンで、紹介されました。高齢者では、肺炎の原因の大部分を占めています。

実は以前から、この菌に対するワクチン(予防接種)があるのですが、当院ではあえてあまり宣伝しておりませんでした。

なぜなら、このワクチンは一度接種すると5年間有効なのですが、今のところ一生に一度しか接種できないからです。

それは、注射部位の副反応(注射部位の疼痛、紅斑、硬結等)のためとされています。ただし、5年以上間隔をあければあまり問題ないとされ、欧米では一度だけ再接種が可能になっています。

この予防接種は、健康保険の適用外のため、自費による接種となります。(当院では、8000円。要予約)

(ごく一部の自治体では高齢者に対して、インフルエンザの予防接種のように補助が出る場合があります。)

当院では、デビットカード・クレジットカードをご利用頂けます。

インフルエンザが流行しています

2月下旬から、少し下火になってきているようですが、もう少し流行は続きそうです。

予防接種を受けられた方も、油断なさないようにして下さい。
 予防接種が一番の予防ですが、「マスク・うがい・手洗い」「人混みを避ける」「過労を避ける」なども基本中の基本です。

小児のインフルエンザの場合には、(脳症発生の危険性があるため) **使用してはいけない解熱剤があります。** 自己判断で、薬を服用させないようにして下さい。特に大人用の薬を安易に子どもさんに与えないで下さい。

インフルエンザの特効薬である、**タミフルの副作用**が問題になっています。ただし、**インフルエンザ脳症**という合併症があり、タミフルが処方されていない場合にも、マスコミで報道されているような事象がおこっているということですので、当院ではタミフルの処方に関しては患者さん・保護者の方の意思を尊重しております。

インフルエンザに関する情報は、下記を参考にして下さい。

[日本医師会](http://www.med.or.jp/influenza/index.html) (http://www.med.or.jp/influenza/index.html)

[厚生労働省](http://www.mhlw.go.jp/index.html) (http://www.mhlw.go.jp/index.html)

[国立感染症研究所 感染症情報センター](http://idsc.nih.go.jp/index-j.html) (http://idsc.nih.go.jp/index-j.html)

15才未満のインフルエンザ患者に投与してはいけない解熱鎮痛剤:

①サリチル酸系製剤 (最も有名な製剤名: バファリン、PL顆粒)

②ジクロフェナクナトリウム (同: ボルタレン)

③メフェナム酸 (同: ポンタール)

ただし現在、いずれの製剤にも多数の後発医薬品が存在しますのでご注意ください。

また、バファリンという商品名でも、成分がサリチル酸ではないもの(つまり比較的安全に使用できるもの)も存在しますので、ご注意ください。

糖尿病手帳について

現在、糖尿病にて定期的に通院されている患者さんには、経過を記録して自己管理に役立てて頂くために、左の糖尿病手帳をお渡ししています。(以前は青い表紙でした)

ただこちらの確認不足で、一部にお持ちでない患者さんがおられるようですので、3月から**血液検査時に確認させて頂きます。**

糖尿病患者さんは、眼底出血の早期発見のために、眼科にも定期的に通院して頂きたいと思っております。(眼科では、**糖尿病眼手帳**を発行されるはずです。)



経過				
年・月・日				
体重	kg			
血圧	mmHg	朝・昼・夕	朝・昼・夕	
血糖	食前			
	食後	時間	時間	
ヘモグロビンA1c	%			
総コレステロール	mg/dl			
HDLコレステロール	mg/dl			
中性脂肪	mg/dl			
GOT/GPT				
尿糖	蛋白	ケトン		
眼底所見				
食事量	kcal			
治療メモ				

40才以上の八尾市民の方は、健診(採血・検尿・心電図)が年1回無料で受けられます。大腸がん検診(便潜血2回法)・肝炎ウイルス健診(3月で終了です)も行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12	○	○	検査	○	○	○	×
午後4~7	○	○	×	○	○	×	×